

コメント	回答
<p>今回コラボ勉強会参加させていただいて良かったです！いろいろ大変だとは思いますが、アシード魂で社会にインパクト与えていきましょう！</p>	
<p>①(意見)まず前提として、(会員には会費負担、有給スタッフの方には人件費が発生しているため)組織や運営に成果が求められるのは当然ですが、一方で久しぶりに総会に参加される(議決権行使される)方には、現在のASJの活動内容や体制(理事役員事務局)に対して、総会資料や当日の数時間のみで決して批判的な目線にならないことを期待します。現理事や事務局は多忙や人数減にも関わらず奮闘してくださっていることを少なくとも私は承知しています。</p> <p>②(質問)しかしながら、前項①を踏まえて、活動内容が、(現在あまり活動していない会員に見え辛い事は最大級の問題と思います。今年は尚更前年度総会において解散も視野にいれた大きな議論がなされ心配に思っている会員は多かったのではないのでしょうか。特に、以前も共有が滞り是正がなされた「理事会議事録の共有」がなくなったのは何故でしょうか。活動内容のSNS発信等はキャパシティの問題もあるかと思いますが、少なくとも作成がマスト[※定款第37条(理事会の議事録)]である理事会議事録は、随時作成されたそれを発信するだけではないのでしょうか。「会員への活動内容の共有方法」について、これまでと今後の方針を本総会にてご説明ください。</p> <p>③(意見)昨年総会にてASJの現状について一部痛烈な意見・指摘をなさいながらも、「それでは自分も動くよ」と、実際に今年度前向きにコラボ勉強会開催の中核となってくださった設立初期メンバーの方がいらっしゃったのがとても印象的です。(不適切な言い方かもしれませんが)とにかく「格好良いな」と感じました。前年総会の意見で「プロジェクトの終了が残念」「団体の現状が不安」という意見が多く見受けられましたが、そういった方々に「それなら、もう一度一緒に活動しませんか?」と伝えたいと思います。</p>	<p>理事会議事録の共有が、滞ってしまい大変申し訳ありません。2020年は活動を立ち止まって行く中で、送付が途絶える。理事会として確認ができず申し訳ありませんでした。総会の直前となりましたが、ダイジョスト版として送付させていただきました。</p>
<p>現場から離れているので現状の詳しいことなどはわかりませんが、今のASJにあった形を模索しながら、みなさん活動を支えていただき、ありがとうございます。</p>	

活動報告というには体裁があまりにも整っていない。理事会資料のようだ。もっと短く要点をまとめた方が良い。特に5ページの「■ASJのミッション・役割・活動形態について方針の振り返り」が肝心なので、結局のところ、どうだったのかを総括してほしい。現時点の6項目はレベル感がバラバラ。特に最後の会員への感謝は不要。

ご質問ありがとうございます。活動報告の体裁が整っておらず申し訳ありませんでした。2020年度は基本的に活動は一時休止していましたが、次年度にむけては資料を整えていきたいと思います。

・ASJのミッションの振り返りについて：ASJコア会議の議論の中で、悪化する社会課題の解決にむけてASJのミッションを変更することは必要ないという判断になりました。

・ASJの役割・活動形態について：特に若い世代によるアクションの必要性は、iPledgeとのコラボ勉強会を実施していく中で特に需要があることや必要性について実感してきました。同時に、OJOBのメンバーからの活動参加の声が上がったことから、社会人メンバーとともに活動する活動スタイルを描いていけたらと思っています。

昨年はどうなることかと思いましたが、色々と具体的に動き出しているようでまずは安堵しております。

ただ、苦言を呈させていただくと、資料1ページ目「OB/OG 会員との関係強化や情報共有に力を入れるとともに、会員サービスの充実をはかり、会員数の安定および増加を目指します」というのがコピペのごとく毎年記載されています。

私も毎年質問しているのですが、具体的に「会員サービス」として何を想定しているのかもっと具体的に記載して欲しいと思います。

昨年の質疑に対する回答の中では、

「1.Slack(全会員が利用できるようにする)2.Facebookグループの充実(会員メンバー間の情報共有)」という項目が上がっていたと思いますが、これらに対する取り組みはどうなっているのでしょうか?Facebookには立ち上げたことは後のページに書いてあるのですが。

理事のみなさんお忙しいことは承知していますし、組織として他の優先課題もあると思いますので、できていないことを責めるつもりは毛頭ございません。ただ過去の議論が全く踏まえられていないのは、総会に参加してコメントしてきたことに対して徒労感を感じます。

理事会議事録なども最近また来なくなっており、いち会員としては、ASJがどこに向かっているのか、コアメンバーが何を考えているのかが今ひとつ見えないと感じています。

お忙しいとは思いますが「OB/OG 会員との関係強化」を謳うなら、もう少しコミュニケーションの頻度を上げた方が良いのではないかと考えています。

活動計画の「3)学生は無論のこと、可処分時間が少ない社会人でも対外的にアクションをやすくしていけるようなアクションのフレームをつくり、定期的アクションを行っていく」にも関連するかもしれませんが、

Zoomなどは空間的な障壁の解消には役立つのですが、時間的な障壁のクリアには、テキストベースの非共時的なコミュニケーションもバランスよく行なっていくのが良いのではないかと考えます。Facebookグループなどもその文脈に位置付けられるかと思いますが、新しいツールでなくともブログやメーリングリストでも良いかもしれません。

まだ実際の運用は部分的ですが、Slackの整備を進めています。総会後に、会員の皆さんにも招待の連絡をしたいと思うので、今後はSlackでやりとりしていけたらと思っています。また、facebookグループにも定期的な投稿をして、情報交換していけるようにしたいと思います。コラボ勉強会にも参加ありがとうございました。

<p>直に、ASEEDが続くのか続かないのか知りたい。 続くのもよし、しまうのもよし。自由に考えてほしい。続くとしてもホビータンになる、自分の分身のようなアシードだけど、この機に寄付・会費をやめさせてもらおうと思っている。自分の限られたお金を切羽詰まった他のキャンペーン（chooseとか難民・入管問題とか、グリーンピースとかものすごく切羽詰まったイニチティブがエンドレスにあるので）に充てたいと思う。</p>	<p>コメントをありがとうございます。言葉にできないほど岸本さんにはお世話になってきました。非会員となられても大事なOGとして何卒よろしくお願いいたします。</p>
<p>理事会の議事録添付ありがとうございます。みんな頑張って活動しているのだな、と元気をもらいました。（議題と関係ないことすみません）</p>	
<p>益々の活動の発展をお祈りしています！</p>	
<p>横須賀市議の小林伸行です。 当日は参加できないため、予め意見を述べます。</p> <p>ASJはかつて、「買う」「働く」「貯金する」を変える、という大方針を掲げて活動していました。 「商品市場」「労働市場」「資本市場」を使って社会を変革するというビジョンです。</p> <p>ところで、活動方針案を見ると「貯金する」の金融ばかりです。今こそ、「買う」「働く」の分野に注力すべきではないですか？に比べて「資本市場」は若い人には遠い。 若い人の関心を集める意味でも、「商品市場」「労働市場」ドメインの活動を増やしたほうがいい。</p> <p>とはいっても、個人の購買や個人の就職については、扱う団体も多く、ASJも過去に手を付けてきたところです。個人ではなく、サプライチェーンマネジメントに目を向けてみましょう。</p> <p>SCMが今ほど話題になっているときはありません。EUのESGデューデリジェンス義務化は大きな潮流を作らざるを得ないでしょう。 ウィグルの木綿、ユニクロのレピュテーション、オリンピック会場の環境破壊木材、クリーンな電力調達など、今ほど社会が注目する案件に事欠かなかったことはないはずで</p>	<p>ぜひESGウォッチプロジェクトに参加をしていただければ嬉しいです。金融以外のテーマについても、コラボ勉強会で扱うなどしていきたいと思っています。</p>

<p>す。</p> <p>社会の構造的な問題に切り込んできたASJが、SCM問題を扱わないなんて考えられません。必要なプロジェクトに協力しますので、ぜひ若い人たちには、時代がやっと追いついてきたわけですから、「本丸」に切り込んでほしいと思います。</p>	
<p>次世代活動会員の育成および現行の青年環境団体との連携についての議論、実践を期待します。</p>	<p>コメントありがとうございます。昨年度新しく関わりを持つことになった皆さんと議論し活動をつくっていきながら他団体との情報交換から初めていきたいと思っています。</p>
<p>2021年度予算について→助成金収入100万円は、支出のどの部分に充てるつもりでしょうか。WEBサイト制作35万円以外は、自主事業費や管理費なのかなと思ひまして。総額の半分以上を人件費に充てられる助成金を探す予定でしょうか。</p>	<p>助成金の使途ですが、WEB制作費用以外は、人件費や管理費に当てられる助成金を考えています。</p>